

令和5年10月31日

冬場のカラス対策を実施します！

市中心部の美しい都市環境の維持、エリア価値の向上を図るため、渡り鳥(ミヤマガラス)によるフン害対策とともに在来種のカラス(ハシブトガラス、ハシボソガラス)によるごみ集積所散乱防止の効果的な対策の検証を実施します。

また、カラス対策の専門家を講師に招いてカラス対策キックオフイベントをおこない、市中心部の商店会や町内会、大学、企業の皆さんと一緒にカラス対策を進めていきます！

記

【カラス対策キックオフイベント】

1. 日時／11月6日(月) 午後3～6時
2. 場所／福島市子どもの夢を育む施設「こむこむ」 わいわいホール
3. 講師／株式会社CrowLab 代表取締役 つかはらなおき 塚原直樹(宇都宮大学特任助教)
4. 内容
 - (1) ボックス型ごみネットの引き渡し式
 - (2) カラス対策セミナー
 - (3) 音声再生装置の使用方法及び実演

【渡り鳥(ミヤマガラス)対策】

1. 期間／令和5年11月～令和6年3月
2. 場所／市中心部におけるフン害の発生場所(パセオ通りなど)
3. 内容
 - (1) 音声再生装置による追払い
「だまくらカラス」音声再生装置を複数台使用し、地元商店会や大学、企業等と連携し対策を実施
 - (2) 国・県と連携したフン害対策
 - (3) 市職員による追払い

【在来種のカラス(ハシブトガラス、ハシボソガラス)に荒らされにくいごみ集積所対策の効果検証】

1. 期間／令和5年11月～令和6年1月
2. 場所／市中心部においてカラス(在来種)に荒らされているごみ集積所
3. 内容
・カラスに荒らされているごみ集積所へ市が提供するごみネット(ボックス型)を設置し、各集積所を管理する町内会と連携し、ごみネットの設置による効果を検証
4. その他
・令和6年3月に効果検証の発表を予定

担当：環境課環境衛生係
課長 黒須 課長補佐 二瓶
電話 024-525-3742(直通)

渡り鳥（ミヤマガラス）対策を実施します！

《ミヤマガラスの飛来状況》

10月～3月にかけて大陸から日本に飛来
※福島市には11月～3月にかけて飛来



《ミヤマガラスの生態と対策》



- 越冬のため大陸から飛来する渡り鳥
- 成鳥はクチバシの根本が白く見える
- 集団で行動する
- 田畑の落ち穂等を食べる
- 生ごみは荒らさない
- かつては九州に多かったが今は全国的に飛来しており、飛来数は年々増加傾向
- 市街地で集団ねぐらを形成することがあり、フン害が発生する地域がある
- 福島市において、令和4年度の冬、CrowLab社のカラスの鳴き声を使った対策によりフン害の軽減に成功
- 令和5年度も同様の対策を拡大して実施

在来種カラス（ハシブトガラス、ハシボソガラス）に荒らされにくい ごみ集積所対策の効果検証

在来種のカラス（ハシブトガラス、ハシボソガラス）はごみ集積所を荒らし、生ごみを餌としています。



《ハシブトガラス、ハシボソガラスの生態と対策》

- ・ 福島市には在来種として「ハシブトガラス」と「ハシボソガラス」の2種類が生息している
- ・ 雑食で、動物の死がい、昆虫、果実、種子等なんでも食べる
- ・ 生ごみもエサとしており、集積所に置かれたごみ袋の中の生ゴミも食べるため集積所が荒らされる

カラスのスペシャリスト塚原氏の話聞き、みんなで追い払おう



カラス対策 キックオフイベント

フン害のない美しい街に

カラスの生態に詳しい株式会社CrowLab代表取締役の塚原直樹氏をお招きし、「カラス対策キックオフイベント」を実施いたします。

カラスの餌場となるごみ集積所散乱防止の効果的な対策について検証を行い、カラスに荒らされない清潔なごみ集積所の維持とともに、冬場に市中心部に飛来する渡り鳥(ミヤマガラス)によるフン害対策も併せて実施します。塚原氏は、これまで全国で独自の方法により追い払いに成果をあげています。カラスの生態を学び、皆さんで協力して追い払いを行い、フン害のない都市環境の維持を図りましょう。

セミナー&追い払い実演

開催
日時

令和5年 **11月6日**月

イベント時間 15:00 ~ 18:00

会場

福島市子どもの夢を育む施設 **こむこむ**
わいわいホール **入場無料**

※定員100名程度

第1部 ボックス型ごみネットの引き渡し式

15:00~ 式典
市のごみ集積所対策について

第2部 カラス対策セミナー

15:20~ カラスの生態と対策について

第3部 音声再生装置の使用方法及び実演

16:40~ 音声再生装置の使用方法等について

まちなか広場へ場所移動

17:30~ 音声再生装置の実演・デモ

講師

私と一緒に、
対策について
考えましょう!

株式会社CrowLab
代表取締役

塚原 直樹

博士(農学)
宇都宮大学特任助教



群馬県桐生高校卒業。CrowLab代表取締役。宇都宮大学にて杉田昭栄教授のもと、カラスの音声コミュニケーションの研究に従事し、博士取得。宇都宮大学特任研究員、総合研究大学院大学助教を経て、現在は、宇都宮大学特任助教。カラス研究一筋20年。主な著書にNHK出版『カラスをだます』。

参考 | クロウラボ公式ホームページ
<https://crowlab.co.jp/>

MAP

駐車場がありませんので、近隣の駐車場
または公共交通機関をご利用ください。



渡り鳥（ミヤマガラス）対策を実施します！

冬場に中心市街地に飛来する渡り鳥（ミヤマガラス）によるフン害対策を実施し、市中心部のエリア価値の向上を図ります。

《対策の期間》 令和5年11月～令和6年3月
《対策の場所》 福島駅東口の街なかにおけるフン害の発生場所（パセオ通りなど）

《事業内容》

①音声再生装置による追払い

「だまくらカラス」音声再生装置を複数台使用し、地元商店会や大学、企業等と連携し対策を実施

②国・県と連携したフン害対策

国道や県道で発生しているフン害については、所管の国や県と連携し、樹木の枝払いや歩道の清掃等の対策を実施

③市職員による追払い

特殊波動式追払いハンディ機及びLEDライトを使用し、庁内関係部署と連携し追払いを実施

※だまくらカラスの動作イメージ



(イメージ)



だまくらカラス



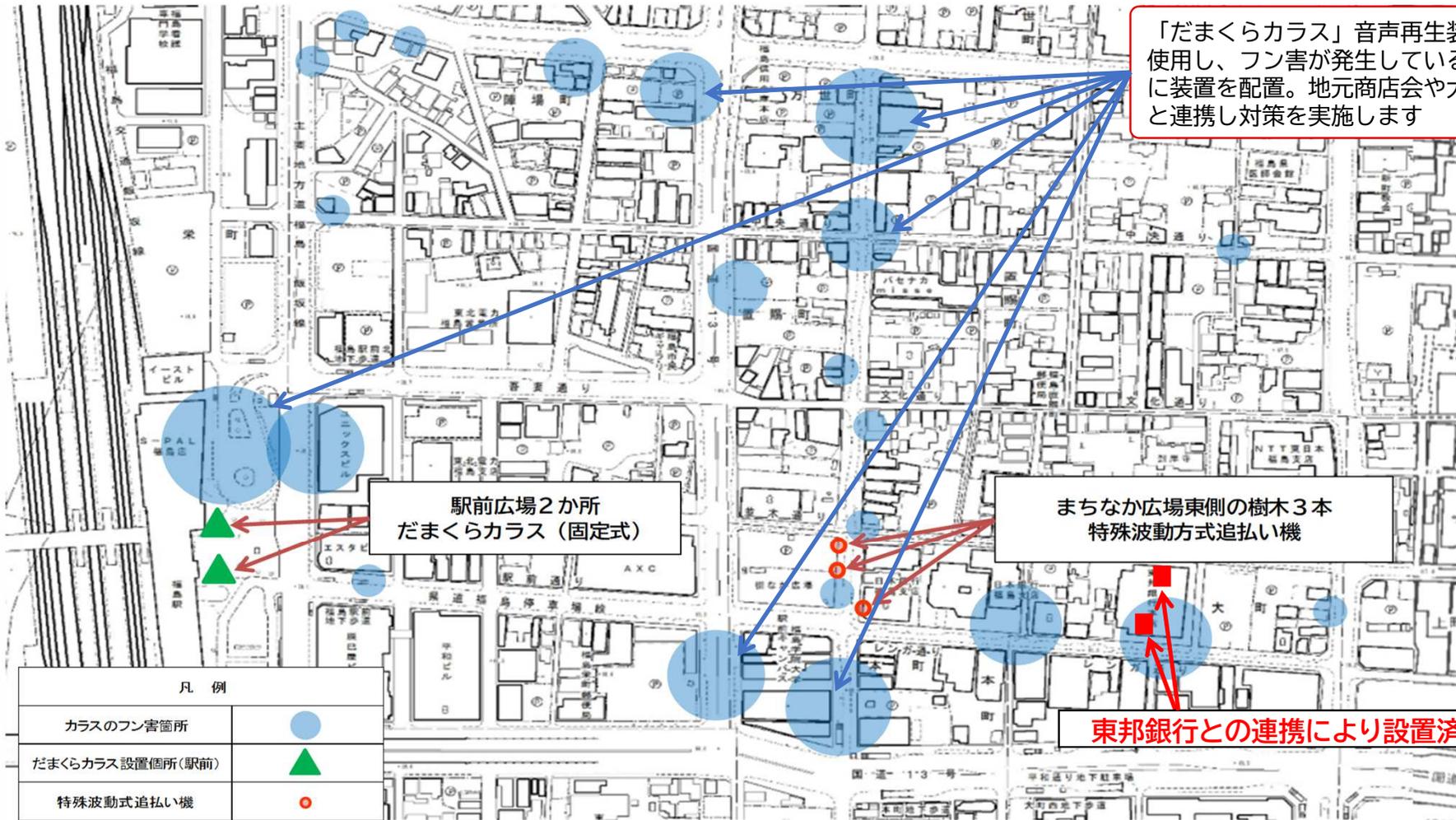
特殊波動方式
追払いハンディ機



LEDライト

渡り鳥（ミヤマガラス）対策を実施します！

市中心部エリア カラスフン害状況マップ



「だまくらカラス」音声再生装置を複数台使用し、フン害が発生している場所の近くに装置を配置。地元商店会や大学、企業等と連携し対策を実施します

駅前広場2か所
だまくらカラス（固定式）

まちなか広場東側の樹木3本
特殊波動方式追払い機

東邦銀行との連携により設置済(10月～)

凡 例	
カラスのフン害箇所	●
だまくらカラス設置箇所(駅前)	▲
特殊波動式追払い機	○

在来種カラス（ハシブトガラス、ハシボソガラス）に荒らされにくい ごみ集積所対策の効果検証

在来種のカラス（ハシブトガラス、ハシボソガラス）の餌場となるごみ集積所の効果的な対策について検証を行い、ごみの散乱防止による清潔なごみ集積所の維持を図ります。

《対策の期間》 令和5年11月～令和6年1月
《対策の場所》 市中心部においてカラスに荒らされているごみ集積所

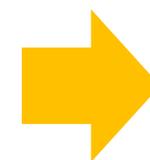
《事業内容》
カラスに荒らされているごみ集積所へ市が提供するごみネット（ボックス型）を設置し、各集積所を管理する町内会と連携し、ごみネットによる効果を検証



ごみ集積所対策グッズの設置状況



設置前



設置後